

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第1区分  
 【発行日】平成16年9月30日(2004.9.30)

【公開番号】特開2002-39751(P2002-39751A)  
 【公開日】平成14年2月6日(2002.2.6)  
 【出願番号】特願2001-137266(P2001-137266)  
 【国際特許分類第7版】

G 0 1 C 5/06  
 G 0 1 S 5/14  
 H 0 4 M 1/00  
 H 0 4 M 1/727  
 H 0 4 M 11/00  
 H 0 4 Q 7/34

【F I】

G 0 1 C 5/06  
 G 0 1 S 5/14  
 H 0 4 M 1/00 U  
 H 0 4 M 1/727  
 H 0 4 M 11/00 3 0 2  
 H 0 4 B 7/26 1 0 6 A

【手続補正書】

【提出日】平成15年9月17日(2003.9.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

局部的な大気圧を測定する圧力センサと、  
 既知の高さでの大気圧測定に基づいて、他の通信機器に気圧校正情報を通信するトランシーバとを有する通信機器であって、  
 該通信機器が、携帯電話器であり、ワイヤレス通信ネットワークに帰属する基地局であり、あるいは位置決定装置であることを特徴とする通信機器。

【請求項2】

前記トランシーバは、前記圧力センサにより測定された局部的な大気圧を校正するために、他の通信機器から気圧校正情報を受領することを特徴とする請求項1記載の通信機器。

【請求項3】

前記圧力センサは、既知の高さにあり、  
 前記トランシーバは、他の通信機器に前記圧力センサにより測定された気圧に基づいて気圧校正情報を送信することを特徴とする請求項1記載の通信機器。

【請求項4】

前記気圧校正情報は、気圧校正情報を受領したことを他の通信機器に通知する方法で送信されることを特徴とする請求項3記載の通信機器。

## 【請求項 5】

前記気圧校正情報は、他の通信機器に対する気圧校正情報を特定する識別子を含むことを特徴とする請求項 3 記載の通信機器。

## 【請求項 6】

前記気圧校正情報は、プリアンブルあるいはヘッダの後に気圧校正情報が続くことを示す前記プリアンブルあるいはヘッダが先行することを特徴とする請求項 3 記載の通信機器。

## 【請求項 7】

局的大気圧を測定する圧力センサと、他の通信機器と通信をするトランシーバであって、該他の通信機器から大気圧測定値を受信するトランシーバと、受信した大気圧測定値と、既知の高さにある圧力センサによる局的大気圧測定値とに基づいて、他の通信機器の高さを決定するプロセッサとを有し、該通信機器が、携帯電話器であり、ワイヤレス通信ネットワークに帰属する基地局であり、あるいは位置決定装置であることを特徴とする通信機器。

## 【請求項 8】

局的大気圧を測定する圧力センサと、他の通信機器と通信をするトランシーバとを有する通信機器であって、前記トランシーバは、圧力センサによって測定された局的大気圧を他の通信機器に送信し、該他の通信機器は、既知の高さにある圧力センサによる大気圧測定値に基づく気圧校正情報を使用した、送信された局的大気圧測定値を校正するように動作可能であり、該通信機器が、携帯電話器であり、ワイヤレス通信ネットワークに帰属する基地局であり、あるいは位置決定装置であることを特徴とする通信機器。

## 【請求項 9】

通信機器の高さ位置を決定する方法であって、通信機器のある場所の局的大気圧を測定するステップと、他の通信機器から、前記測定した局的大気圧を校正する量を示す気圧校正情報を受領するステップと、前記測定した局的大気圧と受領した気圧校正情報を用いて、通信機器の高さ位置を決定するステップとを有することを特徴とする通信機器の高さ位置を決定する方法。

## 【請求項 10】

通信機器の高さ位置の決定を補助する方法であって、通信機器近傍の気圧の測定値に基づいている気圧校正情報が送信されたことを示すような方法で気圧校正情報を通信機器に送信するステップを有し、前記気圧校正情報はワイヤレス通信ネットワークに帰属する基地局または位置決定装置から送信されることを特徴とする通信機器の高さ位置の決定を補助する方法。